

第3回

7/11木

13:30

16:30

篠山市民センター

兵庫県篠山市
(丹波篠山市)
黒岡191
☎079-554-2188篠山城址
大書院篠山市北新町2-3
☎0795-52-4500

講師

田中 豊茂氏
(丹波・但馬・播磨の
戦国史研究家
日本家紋研究会理事)

光秀と波多野秀治と丹波衆

光秀の丹波侵攻で最大級の激戦と言われた八上城(波多野秀治)の攻略。1578年(天正6年)12月より城を取り巻き、堀・堀・柵で幾重にも包囲した。翌1579年(天正7年)6月1日落城、4百人討死、波多野兄弟はとらえられ亀山から安土へ送られる途中兄秀治死亡、弟秀尚は安土城で自刃。8月には黒井城・横山城(後の福知山城)なども攻め落とされ、10月24日光秀は信長に丹波平定を報告した。

その後、家康は大阪の豊臣秀頼とゆかりの諸大名を分断するため交通の要衝、篠山に20もの大名に天下普請を命じた。築城名手藤堂高虎、石垣は坂

本の「穴太衆」によるもので必見。篠山藩はその後、徳川譜代大名松平4家によって治められた。



篠山城址

第4回

9/20金

13:30

16:30

大本本部

京都府亀岡市天恩郷
☎0771-22-5561

丹波亀山城跡

京都府亀岡市天恩郷
☎0771-22-5561

谷性寺

亀岡市宮前町猪倉土山39
☎0771-26-2054

講師

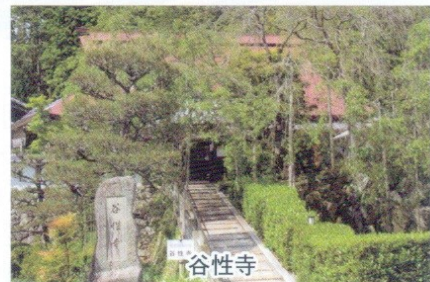
鶴飼 均氏
(亀岡市文化資料館
館長)

光秀の丹波進攻の拠点となった亀山城

1575年(天正3年)天下統一を目指す信長は光秀に丹波攻略を命じた。丹波には八上城の波多野秀治、黒井城には荻野直正など反信長戦線が形成されていた。光秀は1576年(天正4年)波多野氏の反撃にあい一時坂本城に帰陣するが、再度の丹波進攻に際し、天正4年から5年にかけて亀山城の築城に着手、丹波進攻の拠点とした。

谷性寺、1855年(安政2年)「栄」という人が光秀供養のために「光秀公首塚」の碑を建てたといわれる。境内にある「明智山門」の上部(墓殻)

には明智の桔梗の紋が刻まれている。



谷性寺

第5回

10/11金

13:30

16:30

福知山市役所
ハピネスふくちやま福知山市内記13-1
☎0773-22-6111

福知山城

福知山市内記5
☎0773-23-9564

御霊神社

福知山市字中ノ238
☎0773-22-2255

講師

西村 正芳氏
(福知山市地域振興部
文化スポーツ振興課長補佐
兼文化振興係長)

そして光秀は神となった

福知山城は1579年(天正7年)ごろ築かれた城郭。1581年(天正9年)城代として明智秀満が入り丹波国衆を抑える役割を果たした。丹波国内の城割りを進め、不要な城を破却した。現在の城は1986年(昭和61年)市民によって再建された。光秀は善政をしき由良川の治水事業や地稅免除など治政に長けた文化人として領民から慕われた名君であった。御霊神社では光秀は神として祀られている。



福知山城

第6回

11/10日

11月

1泊2日
バスツアー主催
ピーエス観光
福知山営業所
(観光庁長官登録
旅行業第347号)大山崎町
歴史資料館京都府乙訓郡
大山崎町字大山崎
☎075-952-6288アサヒビール
大山崎山荘美術館京都府大山崎町
大山崎銭原5-3
☎075-957-3123

講師

福島 克彦氏
(大山崎町歴史資料館
館長、学芸員)

光秀の天下取りの夢は消えた

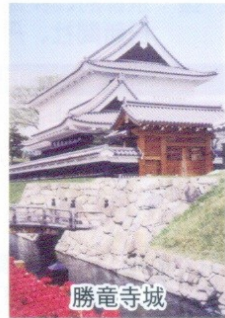
1582年(天正10年)6月2日光秀は本能寺の変で信長に勝利、それから11日後の6月13日山崎の合戦で秀吉に敗れる。戦国時代を駆け抜けた時代の覇者、織田信長、明智光秀が没し、その後秀吉によって天下統一が成し遂げられた。

- アサヒビール大山崎山荘美術館
実業家、加賀正太郎の山荘を生かした美術館、新館は安藤忠雄設計の地中館
- 勝竜寺城址 京都府長岡京市勝竜寺13-1
075-952-1146

1571年(元龜2年)細川藤孝(幽齋)が信長の命で勝竜寺に入る。1578年(天正6年)藤孝の子、忠興が光秀の三女玉(ガラシャ)を娶る。共に16才。

細川氏が宮津に移るまでの約2年、幸せに暮らした。

ガラシャをしのんで第28回「長岡京ガラシャ祭り2019」に参加します。戦国時代に嫁いだ一人の少女のお輿入れを千人を越える行列がお祝いします。ゆかりの地の特産品を集めた「築山楽座」もお楽しみに。



勝竜寺城

西教寺
(天台宗真盛宗総本山)重要文化財・日本遺産
滋賀県大津市坂本5丁目13-1
☎077-578-0013比叡山延暦寺
(ユネスコ世界文化遺産、
日本遺産 国史跡、国宝)滋賀県大津市坂本町
☎077-578-0001

講師

中島 真瑞氏
(明智光秀公顕彰会代表幹事
西教寺長膺)

光秀と坂本城と西教寺

1571年(元龜2年)信長による比叡山延暦寺の焼き討ちで坂本の街も火の海と化した。西教寺は光秀の寄進によって再興された、坂本城の遺構や光秀をはじめ妻熙子(ひろこ)や明智一族の墓がある。

坂本城は焼き討ちの後信長の命により光秀が築成。豪壮華麗な名城を拠点として近江、丹波平定に駆け回り、また、城主として民政に力を注ぎ領民にも慕われた。

坂本は福知山城、篠山城などの石垣を

築いた「穴太衆」の町、美しい石垣の町としても有名。



西教寺

集合場所は原則として現地集合です。各回、お申込みいただいた方々には7~10日前に詳しいご案内を差し上げます。